

GIGAスクール構想のもとでの 小学校社会科の指導について

GIGAスクール構想のもとでの小学校社会科の指導において ICTを活用する際のポイント

(1) 学び方や調べ方を大切に、生徒の主体的な学習を一層重視

小学校学習指導要領（平成29年告示）第2章第2節社会
第3の2 内容の取扱いについての配慮事項(2)

学校図書館や公共図書館、**コンピュータなどを活用して、情報の収集やまとめなどを行うようにすること。**また、全ての学年において、**地図帳を活用すること。**

児童が、自ら問題意識をもち、問題解決の見通しを立て、必要な情報を収集し、情報を読み取り、情報を分類・整理してまとめたりする学習活動の構成が大切である。

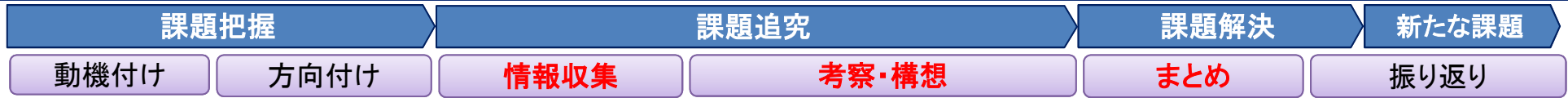
○環境の整備

- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現につながるよう、児童学習において日常的にICTを活用できる情報通信機器の使用環境の整備

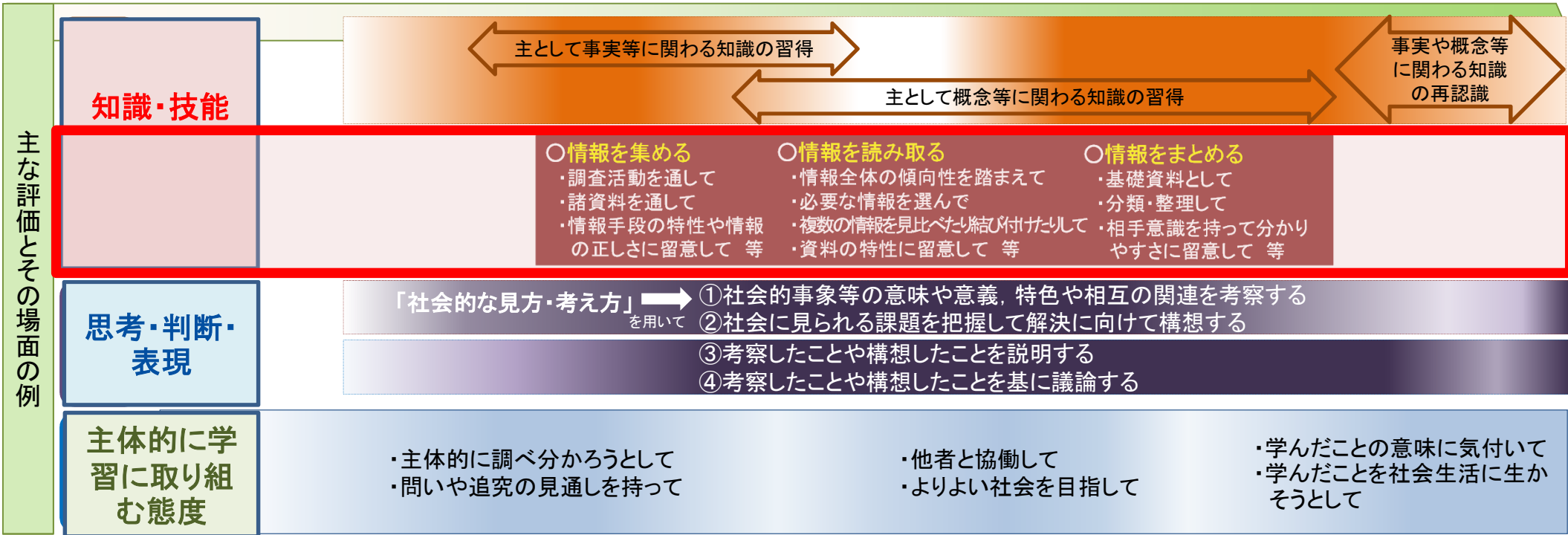
○指導上の留意点

- ・ ICTを活用した学習場面を想定し、単元を通した授業デザインの必要
- ・ 情報モラルの指導への留意
- ・ 課題の追究や解決の見通しをもって児童が主体的に情報手段を活用できるようにする指導

社会科，地理歴史科，公民科における学習過程のイメージ



主な学習過程の例	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習課題を設定する ・社会的事象等を知る ・気付きや疑問を出し合う ・課題意識を醸成する ・学習課題を設定する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題解決の見通しを持つ ・予想や仮説を立てる ・調査方法，追究方法を吟味する ・学習計画を立てる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 予想や仮説の検証に向けて調べる ・学校外での観察や調査などを通して調べる ・様々な種類の資料を活用して調べる ・他の児童生徒と情報を交換する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会的事象等の意味や意義，特色や相互の関連を考察する ・多面的・多角的に考察する ・話し合う(討論等) ● 社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想する ・複数の立場や意見を踏まえて解決に向けて選択・判断する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 考察したことや構想したことをまとめる ・学習課題を振り返って結論をまとめる ・結論について他の児童生徒と話し合う ・学習課題についてレポートなどにまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習を振り返って考察する ・自分の調べ方や学び方結果を振り返る ・学習成果を学校外の他者に伝える ・新たな問い(課題)を見出したり追究したりする
----------	---	---	---	---	--	---



■ 学習過程全体について留意すべき点 ■

- ・上記の学習過程及び評価の場面は例示であり，上例に限定されるものではないこと
- ・主体的・対話的で深い学びを意図した，単元の構成の工夫等が望まれること
- ・社会的事象等については，児童生徒の考えが深まるよう様々な見解を提示することなどが重要であること。その際，特定の事柄を強調しすぎたり，一面的な見解を十分な配慮なく取り上げたりするなど偏った取扱いにより，児童生徒が多面的・多角的に考察し，事実を客観的に捉え，公正に判断することを妨げるようなことのないよう留意すること。また，客観的かつ公正な資料に基づいて指導するよう留意すること

GIGAスクール構想のもとでの小学校社会科の指導において ICTを活用する際のポイント

(2) 「社会的事象等について調べまとめる技能」の育成

小学校学習指導要領（平成29年告示）第2章第2節社会

各学年の目標

第3学年・第4学年

調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、**必要な情報を調べまとめる技能**を身に付けるようにする。

第5学年

地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、**情報を適切に調べまとめる技能**を身に付けるようにする。

第6学年

地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、**情報を適切に調べまとめる技能**を身に付けるようにする。

- 「**社会的事象等について調べまとめる技能**」を小学校社会科，中学校社会科，高等学校地理歴史科及び公民科の学習指導要領解説に共通して掲載
- 「社会的事象等について調べまとめる技能」を生徒に身に付けさせるため、**ICT機器を活用した学習活動のより一層の充実が求められる**

社会的事象等について調べまとめる技能

情報を収集する技能

等手に段関をす考るえ情て報課を題収集決すにる必要能な社会的事象

【1】調査活動を通して

○野外調査活動

- ・調査の観点(数, 量, 配置等)に基づいて, 現地の様子や実物を観察し情報を集める
- ・景観のスケッチや写真撮影等を通して観察し, 情報を集める
- ・地図を現地に持って行き, 現地との対応関係を観察し, 情報を集める

○社会調査活動

- ・行政機関や事業者, 地域住民等を対象に聞き取り調査, アンケート調査などを行い, 情報を集める

【2】諸資料を通して

○資料の種類

- ・地図(様々な種類の地図)や地球儀から, 位置関係や形状, 分布, 面積, 記載内容などの情報を集める
- ・年表から, 出来事やその時期, 推移などの情報を集める
- ・統計(表やグラフ)から傾向や変化などの情報を集める
- ・新聞, 図書や文書, 音声, 画像(動画, 静止画), 現物資料などから様々な情報を集める

○その他

- ・模擬体験などの体験活動を通して人々の仕事などに関する情報を集める
- ・博物館や郷土資料館等の施設, 学校図書館や公共図書館, コンピュータなどを活用して映像, 読み物や紀行文, 旅行経験者の体験記など様々な情報を集める
- ・**コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用して, 目的に応じて様々な情報を集める**

【3】情報手段の特性や情報の正しさに留意して

- ・資料の表題, 出典, 年代, 作成者などを確認し, その信頼性を踏まえつつ情報を集める
- ・情報手段の特性に留意して情報を集める
- ・情報発信者の意図, 発信過程などに留意して情報を集める

情報を読み取る技能

え収方集にした沿った情て報をみ社会的能見方考

【1】情報全体の傾向性を踏まえて

- ・位置や分布, 広がり, 形状などの全体的な傾向を読み取る
- ・量やその変化, 区分や移動などの全体的な傾向を読み取る
- ・博物館や郷土資料館等の展示品目の配列から, 展示テーマの趣旨を読み取る

【2】必要な情報を選んで

○事実を正確に読み取る

- ・形状, 色, 数, 種類, 大きさ, 名称などに関する情報を読み取る
- ・方位, 記号, 高さ, 区分などを読み取る(地図)
- ・年号や時期, 前後関係などを読み取る(年表)

○有用な情報を選んで読み取る

- ・学習上の課題の解決につながる情報を読み取る
- ・諸情報の中から, 目的に応じた情報を選別して読み取る

○信頼できる情報について読み取る

【3】複数の情報を見比べたり結び付けたりして

- ・異なる情報を見比べ(時期や範囲の異なる地域の様子など)たり, 結び付け(地形条件と土地利用の様子など)たりして読み取る
- ・同一の事象に関する異種の資料(グラフと文章など)の情報を見比べたり結び付けたりして読み取る
- ・同種の資料における異なる表現(複数の地図, 複数のグラフ, 複数の新聞など)を見比べたり結び付けたりして読み取る

【4】資料の特性に留意して

- ・地図の主題や示された情報の種類を踏まえて読み取る
- ・歴史資料の作成目的, 作成時期, 作成者を踏まえて読み取る
- ・統計等の単位や比率を踏まえて読み取る

情報をまとめる技能

に読み取った情報をもとめ課題解決

【1】基礎資料として

- ・聞き取って自分のメモにまとめる
- ・地図上にドットでまとめる
- ・数値情報をグラフに転換する(雨温図など)

【2】分類・整理して

- ・項目やカテゴリーなどに整理してまとめる
- ・順序や因果関係などで整理して年表にまとめる
- ・位置や方位, 範囲などで整理して白地図上にまとめる
- ・相互関係を整理して図(イメージマップやフローチャートなど)にまとめる
- ・**情報機器を用いて, デジタル化した情報を統合したり, 編集したりしてまとめる**

【3】情報を受け手に向けた分かりやすさに留意して

- ・効果的な形式でまとめる
- ・主題に沿ってまとめる
- ・レイアウトを工夫してまとめる
- ・表などの数値で示された情報を地図等に変換する

小学校・第3学年・社会科・「わたしたちの市の様子」①

育成を目指す資質・能力

身近な地域や市区町村の様子について、都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、観察・調査したり地図などの資料で調べたりして白地図などにまとめ、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現することを通して、身近な地域や自分たちの市の様子を大まかに理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

ICT活用のポイント

子供一人一人が問題意識をもち、問題解決の見通しをもった後、必要な情報を収集したり、収集した情報を読み取ったり、読み取った情報を分類・整理して話し合ったりする際にICT端末を活用することで、学習活動の幅を広げることができる。

単元の学習過程

学習問題をつかむ

学習問題を追究する

まとめる

事例の概要

「見学活動でICT端末を活用し、情報を収集する」場面において
各自の問いに合わせて見学を進める。その際、子供たちは写真機能を使って記録する、録画機能を使って、映像を記録する、映像の中に自分たちの解説を入れる、レポーターをつけてレポート形式の動画を撮る、など様々な活用を保証している。また、ノートへの記録に追われることなく、文書作成ソフトの音声認識を活用してメモしたり、写真を撮ったりインタビューをしたりするなど、情報の収集に専念することができる。

「収集した情報を基に、ICT端末を活用して話し合う」場面において
見学・調査後、撮影してきた映像をグループごとに見ながら、問いに対する答えや新たな発見をまとめていく。繰り返し再生できるので大切な内容を確認することができる。情報を繰り返し映像で再生し確認したり話し合ったりできるので、情報が吟味され調べたことを基に深く考えることにつながる。また、自分たちで収集した画像や映像を基に、わかったことをまとめたりわかりやすく伝えたりすることもできる。

小学校・第3学年・社会科・「わたしたちの市の様子」②

【見学活動でICT端末を活用し、情報を収集する場面】



ある児童は、「市には、古い神社やお寺があるのではないか」という問いを基に調べ、ICT端末で撮影する。(情報を収集する)



市の土地利用に着目した児童は、地域の方にインタビューして市の様子についてICT端末で動画撮影する。(情報を収集する)

【写真機能や動画機能で情報を記録する】

- 各自の問いに合わせて見学を進め、
- ・写真、動画撮影機能を使って、映像を記録する。
 - ・映像の中に自分たちの解説を入れる。
 - ・レポーターをつけてレポート形式の動画を撮るなど、子供たちは様々な活動を展開できる。

ICT活用のメリット

- 早く効果的に情報収集できる。
- 見えにくい情報を見えるようにできる。

【収集した情報を基に、ICT端末を活用して話し合う場面】



集めた情報を繰り返し見たり、拡大して見たり、友達と共有したりして、地図で場所を確かめながら、市の様子について話し合う。

【収集した情報を基に話し合う】

- ・インタビューの結果を、繰り返し再生し、大切な内容を確認する。
- ・撮影した映像や動画を繰り返し確認する。
- ・画像や映像を繰り返し再生して話し合い、情報を吟味したり、調べたことを基に各自の問いについて考えたりする。
- ・自分たちで収集した画像や映像を基に、自分たちが調べてわかったことをまとめる。

ICT活用のメリット

- 繰り返し再生できる。
- 拡大して細部まで映像で確認できる。
- ファイル共有機能による情報共有で、考えを広めたり深めたりできる。

【活用したソフトや機能】 写真・動画撮影機能

小学校・第4学年・社会科・「廃棄物を処理する事業」①

鳴門教育大附属小学校提供

育成を目指す資質・能力

廃棄物を処理する事業について、処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図や関係機関が作成した資料などで調べたりして図や文章などにまとめる。廃棄物を処理する事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を考え、表現することを通して、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解できるようにするとともに、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養う。

ICT活用のポイント

子供が問いに対して、自分の考えをまとめ、友達の考えと関連付けて整理する際にICT端末を活用することで、「自分の考えをまとめる→班で共有する→互いの考えを関連付けたり、整理したりして班の考えをまとめる」学習活動を効率よく行うことができる。

単元の学習過程

学習問題をつかむ

学習問題を追究する

まとめる

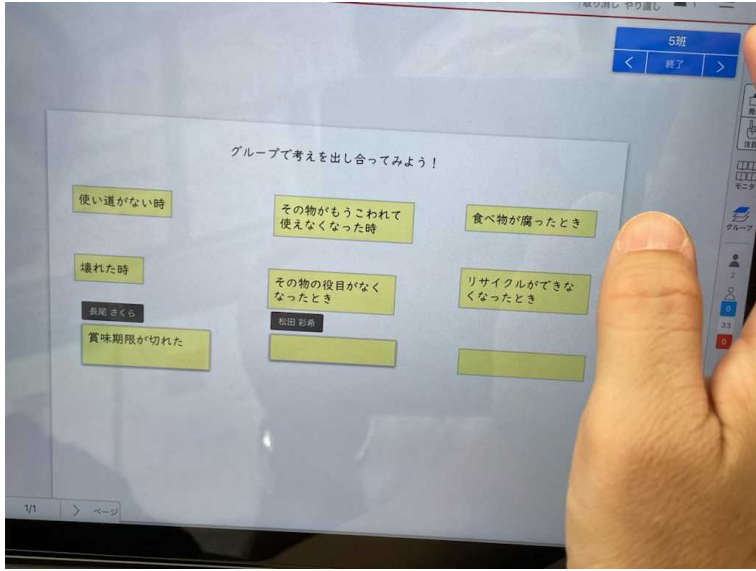
事例の概要

「互いの考えを共有し、関連付けたり整理したりする」場面において

- ① 問いに対する自分の考えをグループの画面に書き込む。班ごとの画面に各自で書き込んでいくため、書き込んだ考えはすぐに反映され、一人一人の考えが班ですぐに共有される。その結果、共有された友達の考えを参考にしてさらに自分の考えを書き込んだり、班の画面を見ながら、共通点・相違点を見つけたりしていくことができる。
- ② 共有された考えをグループで自由に動かしたり、書き込んだり、グルーピングしたりしながら話し合い、互いの考えを関連付ける。関連付けた考えを整理し、キーワードで整理したり、タイトルをつけて整理したりする。操作が容易であるため、子供は話し合いながら、操作し、試行錯誤することができる。（修正、加筆も同様。）また、この班の話し合いシートは学びの記録として保存することができる。
- ③ 班でまとめたシートは、個々がICT端末で見ることができるため、学級全体ですばやく共有化され、それにより互いの考えを確かめたり、自分の考えと比較したりすることで自分の考えを深めることができる。

小学校・第4学年・社会科・「廃棄物を処理する事業」②

【ICT端末を活用し、考えをまとめ、共有する場面】



まずは、問いに対する自分の考えを書いていく。書いた考えは班のシートに反映され、すぐに全体に共有できる。

「壊れた」「使い道がなくなった」など、考えを読みながら、まとめ方を考える。

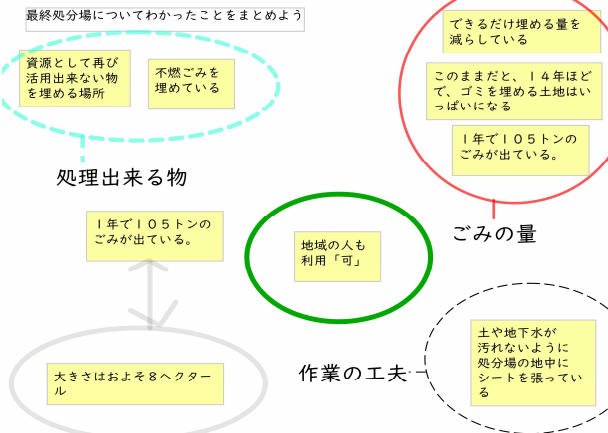
【考えをまとめ、共有する場面】

- 共同編集可能なシートを活用することで、
- ・自分の考えを書き、班の仲間に伝え、共有する。
 - ・自分の考えを書きながら、友達の考えを読む。
 - ・友達の考えを参考にしながら、自分の考えを書く。
 - ・互いの考えの共通点・相違点を見つける。
 - ・まとめ方を考える。

ICT活用のメリット

- 自分の考えを他者に伝えることができる。
- すぐに互いの考えを共有することができる。
- 考えの共通点・相違点を見つけることができる。

【共有した考えを基に、ICT端末を活用して関連付けたり整理したりする場面】



互いの考えを自由に動かしたり付け足したりしながら、最終処分場の働きについて「作業の工夫」、「処理できる物」など、端末上で互いの考えを関連付けたり整理したりして、班の考えをグルーピングしてまとめる。

【互いの考えを関連付けたり整理したりする場面】

- ・互いの考えをグルーピングするなど整理しながら、話し合いを進める。
- ・互いの意見を関連付けて話し合いを進める。
- ・互いの班のまとめを共有できる。
- ・発言が苦手な児童も、意欲的に自分の考えを表現できる。

ICT活用のメリット

- 関連付け、グルーピングなどが容易である。
- 操作しながら話し合いや考えの整理ができる。
- すぐに他班とまとめを共有できる。
- 学びの記録を残すことができる。

【活用したソフトや機能】 学習支援ソフト